【No.R8-R12】 みどりの食料システム戦略推進交付金のうちグリーンな栽培体系への転換サポート

産地戦略

実施期間　令和８年～令和１２年

実施主体　JAグリーン近江オーガニック研究会
都道府県　滋賀県
対象地域　東近江市、日野町
対象品目　水稲



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
● 有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

「収量安定化」を重点におき、「アイガモロボ」「オーレック」「自動給水装置」を上手く利用しながら「雑草対策」を行う

現在の栽培体系

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	備考
主な作業名	栽培マニュアルに記載のとおり												
技術名	栽培マニュアルに記載のとおり												

▼

グリーンな栽培体系

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	備考
主な作業名	栽培マニュアルに記載のとおり												
技術名	栽培マニュアルに記載のとおり												

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R7		目標R12	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	7.4	▶	9	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	7.4	▶	9	
環境にやさしい栽培技術の取組面積（ha）	7.4	▶	9	
省力化に資する技術の取組面積（ha）	7.4	▶	9	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
省力	毎日の水巡回	自動給水装置	適切な水管理（巡回の省力化）

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状		目指すべき水準	備考
省力	水田除草作業時間	**10**	▶	**8**	10ａあたり約１０時間
			▶		
			▶		
			▶		

＊環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する
（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）
＊化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

有機栽培マニュアルの熟成

関係者の役割

関係者名	滋賀県	JAグリーン近江		
役割	営農指導	営農指導		

事業を活用して導入した農業機械等の活用面積の目標

農業機械名	作業内容	活用面積（Ｒ７）（ha）	備考
オーレック	除草	4.3	
アイガモロボ2	初期除草	7.4	

生産物の販売方法、消費者理解の醸成の取組等

その他